

今を生きる



あなたの魂は今どこにありますか。
「あの時もっとこうしておくべきだった」
「本当なら今頃はこうなっているはずなのに」
「こうなったらどうしよう」

これらのコトバが頭に浮かぶとき、私たちの魂はほとんどという瞬間には存在してはいないのです。本当は、私たちが生きているその最も濃密な意味が、この瞬間に現れているというのに。

避けることのできない病を抱えた人が、「瞬間瞬間を味わって生きよう」と心に決めた時、見えてくる風景が全く変わってくる場合があります。緑は濃く、自然は例えようもなく美しく、エネルギーに満ちあふれている。もし私たちが同じ風景を見ることができないのであるなら、それは私たちの魂が「今ここ」にないからです。

毎日起こる出来事は、一見全くの偶然のように思えるが、実勢はすごい意味をもっているのです。しかしながら、魂が今ここにないと、そのことの意味を感じることができない。本当は私たちに向かって何本もの救いの手が差し伸べられているのにも拘わらず、それを見ることができないのです。

That they live as if they'll never die, and die as if they had never lived."

人間たちはまるで、自分たちは決して死なないかのように生きている。そして

あたかも、決して生きたことがなかったかのように死んで行く。

(Interview with God より)



- 事例① “Gilbert Grape” より”
& “When Food is Love” □ Geneen Roth の減量ワークショップ
- 事例② パチスタ手術—大島則子さんの例
- 事例③ 今を生きる—大平光代（「私はあきらめない」NHK10/30/2002）
- 事例④ 映画「生きる」黒澤明 1952年

Yesterday is history,

Tomorrow is mystery,



Today is a gift.

資料：永田 円了